

## 研究協力をお願い

昭和大学附属烏山病院、うえむらメンタルサポート治療所では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ギャンブル障害スクリーニング検査 LOST の有用性の検証

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2019. 3. 14～2020. 6. 13 うえむらメンタルサポート診療所

2019. 2. 1～2022. 6. 3 昭和大学附属烏山病院

の間にギャンブル問題でそれぞれに初診した方を対象としています。

### 2. 研究目的・方法

ギャンブル障害のスクリーニング検査として SOGS ( The South Oaks Gambling Screen ) が挙げられますが、質問項目が多く検査に時間がかかる事が指摘されています。簡易スクリーニング検査として4項目からなる LOST はその簡便性から広く用いられていますが、ギャンブルを主訴として来院する者に対しての LOST の診断感度・特異度は明らかにされていません。また SOGS との一致率も明らかではありません。今回我々は昭和大学附属烏山病院とうえむらメンタルサポート診療所をギャンブルの問題を主訴として来院された方のうち、LOST、SOGS を施行したもののデータとギャンブル障害の診断基準の各項目について診療録から調査することで、LOST の診断感度・特異度・SOGS との一致率を確認します。

#### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される審査結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから 2024 年 3 月 31 日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

昭和大学附属烏山病院、うえむらメンタルサポート診療所にギャンブル問題を主訴として受診した患者さんの LOST、SOGS と DSM5 における診断基準に関する情報および患者背景（年齢・性別・身体、精神の合併疾患の有無・既往歴・現病歴）を調査項目とします。

### 4. 外部への試料・情報の提供

個人情報の保護のため、取得した診療情報は各施設において個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化し、対応表を作成します。得られた診療情報、対応表および解析結果は各施設内の外部から切り離されたコンピューター内に保存されます。

うえむらメンタルサポート診療所の診療情報は、昭和大学医学部精神医学講座へ送付され、同講座にて解析等を行います。

## 5. 研究組織

研究責任者：

医学部精神医学講座 医師・講師 常岡 俊昭

既存の情報を提供する機関：

うえむらメンタルサポート診療所 医師・院長 上村 敬一  
公認心理師・保健師 金織 来多

個人情報管理責任者：

医学部精神医学講座 医師・准教授 真田 建史

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部精神医学講座 氏名：常岡俊昭

住所：世田谷区北烏山6-11-11 電話番号：03-3300-5231

研究責任者：昭和大学医学部精神医学講座 常岡俊昭